

第13回 神戸便教会 活動報告

2018年9月30日(日)、第13回神戸便教会を吉田中学校で行いました。

今回は3名での活動となりました。台風が接近しており、交通機関も止まってしまっただけで、いつもより短い時間で2階女子トイレを掃除することにしました。中止も考えましたが、その時は一人でトイレに向き合うことにしようと思い決行しました。結局、お二人も来ていただけました。



ビフォー



参加して下さった K 先生は、道具を並べるところからの掃除に参加するのが初めてだったので、兵庫便教会同様、大切にしたい3つのことを確認しました。「両手を使う」「人と比べない」「しゃべらない」という3つです。しかしながら、その3つのことも「トイレ掃除はこうしなければならない」という



アフター

ことではなく、自分が気づくためのヒントとしての3つだということを確認して、トイレ掃除を始めました。

まず M 先生が脚立に乗り、蛍光灯を拭き、換気扇を外し、通気口の埃を掃除されました。すべての便器で喫水線が色濃く残っている状態でしたが、予定時間で汚れをすべてきれいに落とすことができました。また、フラッシュバルブの金属部分の掃除も含め、それぞれが汚れに真剣に向き合えて

いたように思います。

K 先生の振り返りの言葉は、「どんどんピカピカになっていくことに本当に感動しました。終わったあとの空気感が違うことも実感しました。壁を拭くということも知りませんでした。でも、壁の掃除のとき、壁に穴が開いているのを見つけました。なぜここに穴が開いたんだ



ビフォー



アフター

ろうと思いました。何か嫌なことがあったのかなあと思いました。トイレがきれいになることでそんな生徒の心が穏やかになればいいなあ」という振り返りのコメントでした。

M 先生は「今日は、時間が短いということで、逆算して掃除をしてしまいました。時間内に落とせな

い汚れに関しては『もうここでもいいか』思っていました。でも自分が「もういいか」と思った汚れをK先生はスクレイパーを持ってきて、掃除し始めたんです。自分の弱さがそんなところにあったということに気付かせてもらいました。やはり誰かと一緒に掃除をすると学びがあると感じました。」という振り返りでした。また、「もう少し人数がいれば、蛍光灯や換気扇を担当することはありませんでした。それが、人数が少ないということで、蛍光灯も換気扇も、脚立に登って初めて掃除させてもらいました。今回初めて蛍光灯や換気扇の掃除をしたことで、自分が一人になっても、掃除してみようということに繋がると感じました。」ともおっしゃっていました。



M先生もおっしゃっていましたが、「誰かと一緒に掃除をすると学びがある」と私もそう感じました。それは、今回初めて参加するK先生の言葉や表情からもそうです。ですから、生徒と生徒の関係においても、先生と生徒、先生と先生、先生と他職種の人など関係においても、お互いに学び合える環境作りが、重要であり、そこからいかに気づくことができるかが大切だと思いました。

次回は、10月27日(土)8:30～、吉田中学校の予定です。